

九頭竜川・北川水系河川水質汚濁防止連絡協議会

配布
日時

平成27年1月26日
18時00分

資料配布

件名

このきだにがわ
九頭竜ダム湖流入支川此ノ木谷川
における油流出事故について（第2報）

概要

- ・本日9：30頃、九頭竜ダム湖の流入支川において水質事故が発生したと原因者から通報があった。
- ・発生場所は、福井県大野市大谷地先
- ・原因者は、電源開発（株）が発注している施設点検作業の受注者によるもの。
- ・事故原因は、除雪作業車両（バックホウ）アームの作動油が貯留されているタンクのボルトが外れていたことによるもの。
- ・河川への流出量は1リットル未満と見込まれ、魚の斃死（へいし）などの異常は確認されていない。
- ・原因者が、オイルフェンス及び吸着マットによる対策を実施中。
- ・国道158号（大谷橋）より下流で油膜は確認されない。

取扱い

同時配布

福井県政記者クラブ
大野市結の故郷推進室

九頭竜川・北川水系河川水質汚濁防止連絡協議会
近畿地方整備局福井河川国道事務所
近畿地方整備局九頭竜川ダム統合管理事務所

〈問い合わせ先〉
九頭竜川ダム統合管理事務所
管理課長 森川 修
電話：0779-66-5300（代表）内線331

九頭竜ダム湖支川此ノ木谷川における油流出事故について（第2報）

1. 発生日時・場所

- ・平成27年1月26日(月) 午前9:30頃
- ・福井県大野市大谷地先

2. 発見者

- ・施設巡視点検作業の受注業者作業員

<施設の名称> 此ノ木谷川注水口^{ちゅうすいこう}

<施設管理者> 電源開発株式会社

3. 原因

- ・施設巡視点検を実施するため、国道158号（大谷橋）より上流側の「此ノ木谷注水口」に向かうまでの林道を除雪作業中、雪に付着した油が此ノ木谷川に入り、油膜が発生しました。
- ・作業員が作業車両（バックホウ）から油が漏れ出していたことに気付きました。
- ・原因は、作業車両（バックホウ）のアームを作動させるために、作動油が貯留されているタンクにおいて、ボルトが外れていたためです。
- ・ボルトが外れていた原因は、不明です。
- ・河川へ流出した油は、1リットルにも満たない量と見込まれます。

4. 影響

- ・事故発生現場付近において、魚の斃死（へいし）及び異臭は確認されていません。
- ・事故発生現場より国道158号（大谷橋）までの支川此ノ木谷川において3m×3m（9m²）の油膜を確認しました。
- ・油の流出量は、作業車両から漏れた油の大部分が陸上で確認できるため、河川への流出量は1リットル未満程度と見込まれます。
- ・国道158号（大谷橋）より下流の九頭竜ダムまでの間においては、油膜は無し。
- ・九頭竜ダム湖の湖面上の油は、風の影響により此ノ木谷川上流に流されている。

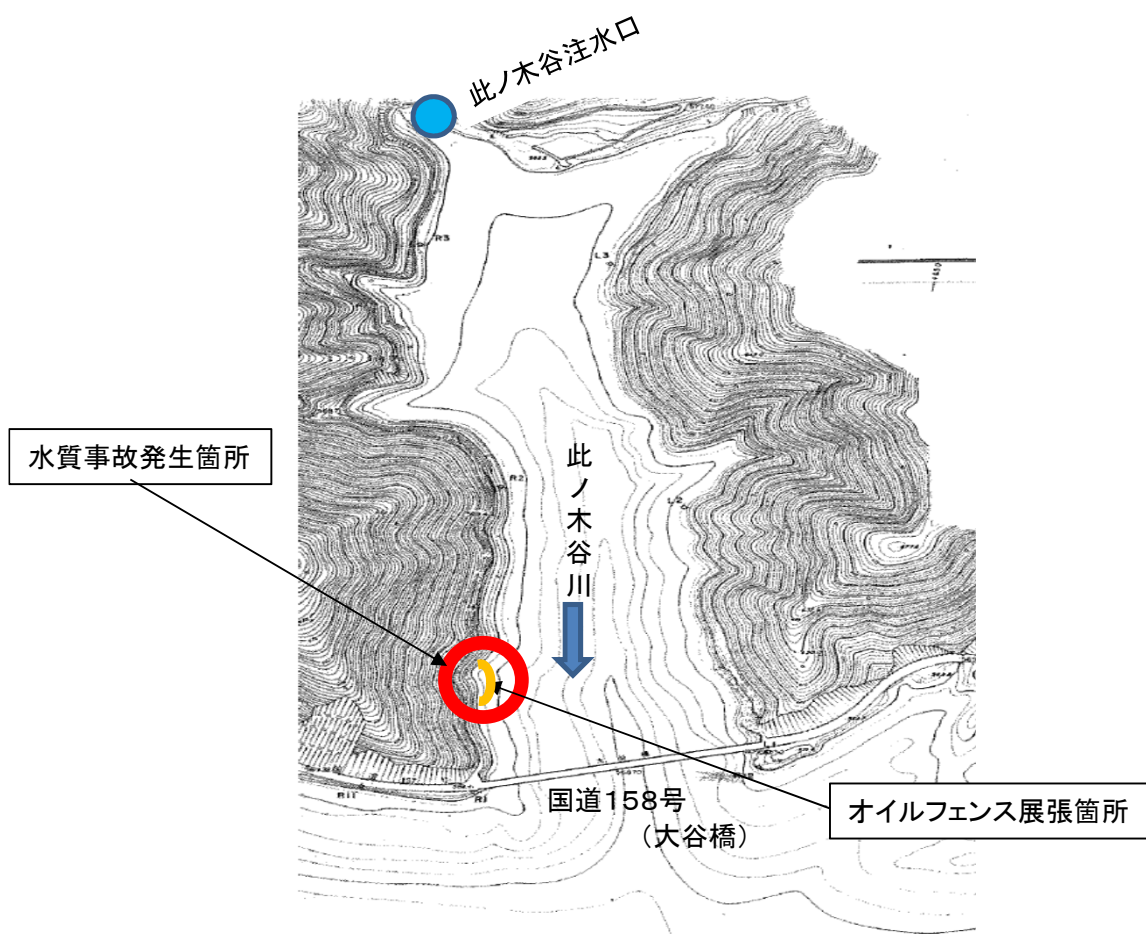
5. 対応状況

- | | |
|--------|----------------------------------|
| 9:25頃 | 事故発生 |
| 9:30頃 | 受注業者より電源開発(株)九頭竜電力所に事故発生の状況報告 |
| 10:00頃 | 電源開発(株)九頭竜電力所より九頭竜川ダム統管理事務所に状況報告 |
| 10:40頃 | 九頭竜ダム管理支所職員による現場巡視。 |
| 11:00頃 | 電源開発(株)において現地調査及び対応策を検討 |
| 16:00頃 | 電源開発(株)においてオイルフェンス展張が完了 |

6. 今後の対応

- ・雪道上の油（河川側の法面も含め）は雪土と一緒に回収し運搬（搬出先：和泉朝日地区）
- ・回収された雪土は、搬出先においては、通常の除雪塊とは場所を区別し且つ油流出対策を実施したうえ、仮置きされます。

位置図

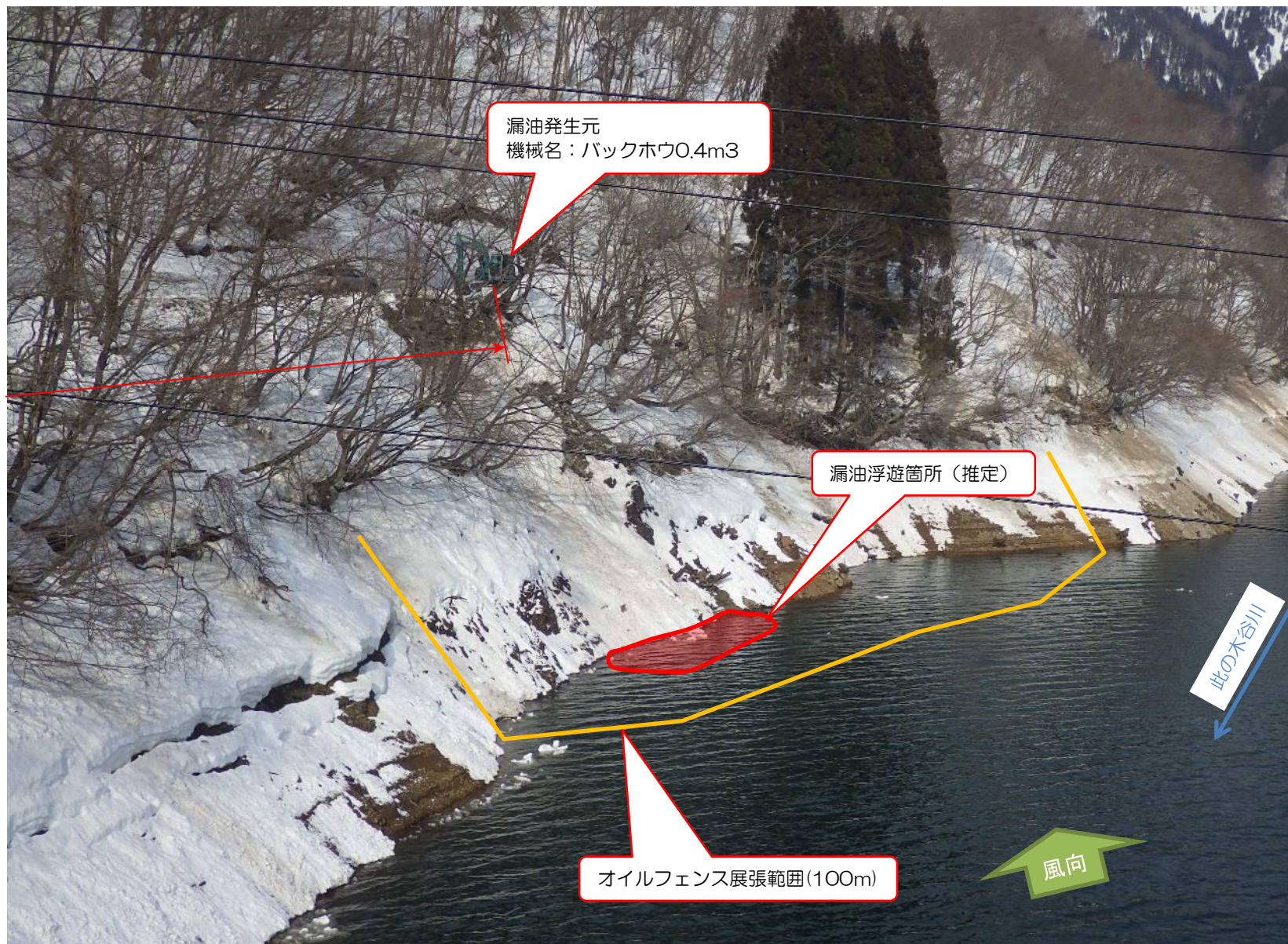


油流出状況



此の木谷林道除雪作業
漏油発生場所：此の木谷入口から約100m付近

No.1



此の木谷林道除雪作業
漏油発生場所：此の木谷入口から約100m付近

No.2

